

月々600円で、退職時全額返金の

総合共済へ

うれしい給付がいっぱい

結婚 1万円 出産 5千円

結婚記念日 2万円 など

泉北教育

No2124 2018.11.5

発行 泉北教職員組合

〒594-0071 和泉市府中町6-12-2

0725-41-1953 Fax0725-44-6570

E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

歓迎行事 よさこい



今年度は堺・泉北ブロックで開催される「教育のつどい大阪2018」。全体会はウエルカムムービーや青年によるよさこいの歓迎行事に始まり、大いに盛り上がりしました。大教組の大瀬良教文部長からは学習指導要領のミニ学習と基調提案が行われました。参加者

**盛り上がった
歓迎行事**

10月20日、「教育のつどい大阪2018」の全体会が、サンスクエア堺で開催され、会場は約300名の参加者の熱気に包まれました。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんを講師に迎え、「ファインダー越しに見た世界の子どもたち」取材から見えてきたもの」と題して講演していただきました。

「教育のつどい大阪2018」全体会開催 安田菜津紀さんが語る 世界の子どもたち

は真剣に耳を傾けていました。

**「伝える仕事」の
大切さ**

講演では、安田菜津紀さんがフォトジャーナリストという仕事を選ぶきっかけになった出来事や、取材してきたカンボジア、シリアや東日本大震災で被災した陸前高田市の人々との交流の様子、安田さんが撮影した写真とともに丁寧な言葉で語られました。紛争状態になる前の美しいシリアの風景、爆撃で負傷した子どもたちの姿、東日本大震災で被災した人たちがシリアの難民支援のために活動する様子など、胸を打たれる写真とお話に引き込まれました。



安田 菜津紀さん

安田さんは、「写真を撮ることよりも、目の前の難民の方たちのために働く道もあつたのではないかと、フォトジャーナリストという仕事を選んだ自分に問いかけることもあつたと言います。しかし、現地で働くNPOスタッフに、「私たちは目の前にいる人たちを直接支援することはできません。けれど、必死に働いている中で、何が必要かといった声を上げる余裕がなくなっていく。だからそれを伝える人は絶対に必要。役割分担なんだよ」と言われ、「伝える仕事」の大切さに改めて気づいたそうです。

参加者の感想からは、教育という「伝える仕事」に



○自分の事として考えるために、「自分の軸を広げる」という話は本当にそうだなと思いました。社会を作る一人として、教育は尊い仕事だし狭い世界で考えずにいきたいと思いました。

対する思いが多く寄せられました。
○世界の中で見てきたことを、自分の心のファインダーを通し、丁寧に語っていただき、心にストンと話が入ってきました。誠実で優しいお人柄も伝わってきました。とても良かったです。感謝しました。また、聞きたいです。

○役割分担のこと納得です。あれもこれもあるけれど自分にはこれが私の役割分担だと思って頑張ろうと思いました。

○もつと視野を広く持ち、感性を磨いて子どもたちと向き合いたいと思いました。

○自分が経験していないことへの想像力の大切さという話で、平和や自分のできることを考えさせられました。

教育のつどい大阪2018 問題別分科会

日時：11月11日(日) 9時30分～

会場：高石市立高南中学校

発達・評価・学力問題 / 障害児教育 / 教育条件 /

思春期・青年期の進路 / 登校拒否・不登校 など

たくさんのレポートが集まりました。いっしょに学び合いましょう！

あなたも泉北教職員組合へ